



町田市民文学館ことばらんど

2023年 4月22日(土) → 6月25日(日)

今日マチ子

「わたしの#stayhome日記」2020-2023 展

【休館日】毎週月曜日、5月11日(木)、6月8日(木) 【観覧時間】10時～17時 【観覧料】無料

【協力】rn press、川名潤装丁事務所、岩崎書店、太田出版、KADOKAWA、河出書房新社、Production I.G

町田市民文学館ことばらんど 〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17 TEL:042-739-3420 FAX:042-739-3421

JR横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分 小田急線町田駅東口から徒歩12分

※開催内容は今後の状況により変更することがございます。最新情報は町田市ホームページでご確認ください。



町田市民文学館
ことばらんど



エッセンシャルなものとはなにか？

漫画家・今日マチ子が2020年の緊急事態宣言以降、ソーシャルディスタンスが当たり前になってゆく人々の生活や街の風景を1日1枚のイラストで表現し、SNS上で発表してきた「わたしの#stayhome日記」シリーズ。それは彼女が世界的なコロナ禍から見出したこの3年間の彼女自身の、そしてわたしたちの〈日常の記憶〉です。

本展では『Distance』『Essential』と、最新刊『From Tokyo』(rn press) から選りすぐった120点の作品をご紹介します。今日マチ子が表現者として発信し続けた個人的な記録によって、2020-2023年に世界的に蔓延した感染症下の「日常」を見つめ直し、私たちの「これまで」と「これから」を、そして「変わるもの」「変わらないもの」について想いを巡らせます。

加えて、Webマンガの嚆矢とされ、2004年の発表以来高い人気を集める『センネン画報』（太田出版）や、「百人一首」の世界観を現代風俗に置き換えた『百人一首ノート』（KADOKAWA）の原画を通じて、透明感ある色彩で表現された今日マチ子の何気ない日常を見つめる透徹した眼差しを辿り、彼女がこれまで追求してきた〈日常の記録〉に迫ります。

Event

オープニング記念対談 「エッセンシャルなものってなに？」

コロナ禍の終焉が見えてきた中で、改めて今、おふたりの考える「エッセンシャルなもの」について自由に語っていただけます。

出演：辻村深月(作家)×今日マチ子(漫画家)

日時：4月29日(土) 14:00～15:30

会場：文学館2階大会議室 定員：80名(抽選)

申込方法：4月1日(土)正午から10日(月)まで

イベシスで受付(イベントコード：230401A)

記念座談会

「How to Create Kyo Machiko —今日マチ子のつくりかた—」

長年、今日マチ子の代表的著書『センネン画報』をはじめ、その多くの装丁に携わってきたデザイナーの川名潤、「わたしの#stayhome日記」編集者の野口理恵を迎え、ご本人を交えて漫画家「今日マチ子」の世界観の作り方について語っていただけます。

出演：今日マチ子(漫画家)×川名潤(デザイナー)×野口理恵(編集者)

日時：5月20日(土) 14:00～15:30

会場：文学館2階大会議室 定員：80名(抽選)

申込方法：4月20日(木)正午から30日(日)まで

イベシスで受付(イベントコード：230420A)

アーティストトーク

今日マチ子が

「わたしの#stayhome日記」を中心に、展示中の自作について語ります。

日時：6月10日(土) 18:00～19:30

会場：文学館2階展示室 定員：30名(抽選)

申込方法：5月1日(月)正午から10日(水)まで

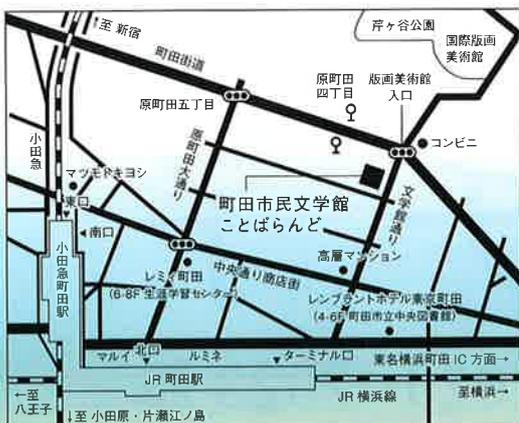
イベシスで受付(イベントコード：230501A)

担当学芸員による展示解説

4月23日(日)／5月7日(日)／6月18日(日)

各日14:00から(40分程度)

※展示室に直接お越しください



町田市民文学館 ことばらんど

〒194-0013

東京都町田市原町田4-16-17

TEL: 042-739-3420

FAX: 042-739-3421

JR横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分

小田急線町田駅東口から徒歩12分

📱 @machida_kotobaで最新情報発信中



今日マチ子

漫画家、東京都出身。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科、セツ・モードセミナー卒。ブログで更新していた1ページ漫画「センネン画報」が評判となり、2005年に第1回「ほぼ日マンガ大賞」に入選。06年、07年と2年続けて文化庁メディア芸術祭「審査委員会推薦作品」に選出されるなど、SNS時代に登場した新しい漫画家として注目される。2010年に「cocoon」、13年に「アノネ。」が文化庁メディア芸術祭「審査委員会推薦作品」に選出。14年に「みつあみの神様」等で手塚治虫文化賞新生賞、15年に「いちご戦争」で日本漫画家協会賞大賞(カーตูน部門)受賞。

